

# 共育の丘だより 第13号 2020秋

教育・学生支援機構 教学マネジメント室 ニュースレター



「山口大学は、教えるだけの教育ではなく、

教員と学生、あるいは地域と一体となって

発見し、はくくみ、かたちにすることで共に高め合い、

未来を拓く『共育』を目指しています」

『2014 山口大学案内』より

共育の丘（山口大学 吉田キャンパス）

## 巻頭言

山口大学は今年度に組織再編を行い、大教育機構は教育・学生支援機構となりました。私はその機構長の任に4月から就いておりますが、この「共育の丘だより」に登場するのは2回目で、理学部長のときにうけたインタビュー記事が第2号(2015年1月7日発行)に掲載されております。

この度の再編の一番大きな点は、大学教育センターが機能分離し、教学マネジメント室と教育支援センターとなったことです。教育支援センターは、引き続き共通教育、教育プログラム、及び学修支援の企画・運営の業務等を行います。対して、教学マネジメント室のミッションは内部質保証に係る計画・実施・評価・改善の仕組みを確立し、本学の教育活動の充実発展に寄与することです。具体的には、卒業認定及び学位授与の方針、教育課程の編成及び実施の方針、入学者受け入れの方針の点検・評価、職員の教学マネジメント能力の向上、教学インスティテューショナル・リサーチ（IR）の推進などが所掌事項となっており、本学の教育の実施に係る中枢的役割を担うことが求められています。

今年はコロナ禍の中で新学期が始まり、本学でも遠隔講義を主体とした授業が行われてきました。教学マネジメント室は遠隔講義のノウハウについてのオンライン講演会を企画・実行し、アンケートを実施して遠隔／対面授業の得失を判断するデータを教員や学生に早期に提供するなど、設置当初からその存在感を示しています。

中長期的に取り組むべき重要な任務が、中央教育審議会大学分科会が制定した「教学マネジメント指針」(令和2年1月22日)への対応です。現在は、受審予定の認証評価基準と照らしあわせながら、この指針が示す指標に基づく教学IR体制の整備を進めています。今後の活動についてご理解とご協力をお願いします。(松野 浩嗣 理事・副学長 兼 教学マネジメント室長)

## INDEX

- P1 巻頭言
- P2 教学マネジメント室の動き
- P3 OLTM学生スタッフ活動2020
- P4 AP全体報告会
- P5 ポストAP宣言
- P6 学生交流会
- P7 他大学交流・やまぐち探訪記

【※ 本ニュースレターは、山口大学基金「学生の就職支援・教育環境の改善等助成事業」の支援を受け、編集・刊行しています。】

# 教学マネジメント室の動き

## FD・SDとは？

### はじめに

FDはFaculty Developmentの略称で、「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組」を指します。SDはStaff Developmentの略称で、「事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組」を指します(中央教育審議会答申・用語集より)。

## オンライン授業づくりのためのランチョンFD研修会開催！

新型コロナウイルス感染症のため、大学の授業は原則としてオンラインによる授業が主となっており、全学の教職員を対象に、Zoomによる「オンラインランチョンFD（4回シリーズ）」を企画しました。6月12日（金）・17日（水）・19日（金）・24日（水）の4回ともに、多くの参加者があり、延べ237名の参加者を数えました。

第1回・第2回は「【Part1】オンライン授業づくりに役立つ基礎知識」として、「遠隔講義ポータル」の紹介のほか、共通教育・専門教育での実践事例を通して、オンライン授業づくりに役立つ基礎知識を学びました。第1回では、創成科学研究科 鳴海孝之准教授から、オンライン授業での多様な方法を紹介いただくとともに、実際のオンライン授業での学生の反応や学習評価のあり方などについて紹介のほか、実験の様子を紹介やアクティブラーニングへの活用案などの提案がありました。第2回では、教学マネジメント室 林透准教授から、「遠隔講義ポータル」の紹介のほか、共通教育における大人数クラスでのオンライン授業実践を通して、学習者のためのオンライン授業設計のポイントを紹介し、今後のブレンディッド学習の重要性を強調しました。第3回・第4回は「【Part2】オンライン授業づくりに役立つ実践スキルと応用」として、修学支援システム、Moodle、Zoomなどを活用したオンライン授業実践を通して、実践スキルと応用を学びました。第3回では、創成科学研究科 西井淳教授から、オンライン授業での多様な方法を紹介いただくとともに、実際のオンライン授業での学生の反応や学習評価のあり方などについて、これまでの長年の授業実践を踏まえながら詳細の説明がありました。第4回では、経済学部 武本Timothy教授から、Zoomの各種機能紹介をはじめ、語学教育でのオンライン授業内容や工夫している点などを紹介いただきました。学生の主体性を引き出すポイントやオンライン授業の場こそ「学びの道場」であるとの説明があり、語学担当教員を中心に多くの質問がありました。

昼休み時間での参加しやすさ、キャンパス間の壁を超えるオンライン実施などに満足する声が多数聞かれました。今後も、オンライン授業をテーマとした内容、オンラインを活用したFDの実施などを企画していきたい。



オンラインによる  
オンライン授業づくり  
のためのランチョンFD

新型コロナウイルス感染症のため、大学の授業は原則としてオンラインによる授業が主となっています。このため、全学の教職員を対象に、Zoomによる「オンラインランチョンFD」を企画しました。ぜひ、リアルタイムでの参加をお待ちしております。なお、当日の記録動画を随時公開予定予定です。

【Part1】オンライン授業づくりに役立つ基礎知識

「遠隔講義ポータル」の紹介のほか、共通教育・専門教育での実践事例を通して、オンライン授業づくりに役立つ基礎知識を学びます。

第1回：6/12（金）12:00～12:40 （講師：創成科学研究科（工） 准教授 鳴海 孝之）	第2回：6/17（水）12:00～12:40 （講師：教学マネジメント室 准教授 林 透）
--------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

工学部での実践事例を中心に、オンライン授業での多様な方法を紹介いただくとともに、実際のオンライン授業での学生の反応や学習評価のあり方などについてお話しします。

【Part2】オンライン授業づくりに役立つ実践スキルと応用

修学支援システム、Moodle、Zoomなどを活用したオンライン授業実践を通して、実践スキルと応用を学びます。

第3回：6/19（金）12:00～12:40 （講師：創成科学研究科（理） 教授 西井 淳）	第4回：6/24（水）12:00～12:40 （講師：経済学部 教授 武本 Timothy）
------------------------------------------------------	------------------------------------------------------

理学部での実践事例を中心に、オンライン授業での多様な方法を紹介いただくとともに、実際のオンライン授業での学生の反応や学習評価のあり方などについてお話しします。

## 遠隔講義アンケート（学生用・教員用）を実施！

6月12日（金）～26日（金）の期間で実施した「遠隔講義アンケート」（ウェブ版アンケート）について、学部学生5,004名、教員（非常勤講師を含む）527名から回答がありました。その結果及び記述内容について、7月開催の教育研究評議会及び教学委員会にて報告するとともに、以下のHP（※学内限定）に掲載いたしました。

非常に多くの学生・教員からの回答内容を踏まえながら、今後の本学における遠隔講義の改善に役立てるとともに、新型コロナウイルス感染症収束後の遠隔講義手法を取り入れた大学教育の更なる充実に活かしていく予定です。

【遠隔講義ポータルサイト】

<https://rcp.cc.yamaguchi-u.ac.jp/portal/>

（「遠隔講義ポータル」→「教員用」→「資料集」※学内限定）



山口大学 遠隔講義ポータルサイト

山口大学では、新型コロナウイルス感染症防止のため、遠隔授業を実施しています。本サイトは、山口大学における遠隔講義ポータルサイトとして、学生および教職員の皆さまにご利用を歓迎いたします。

学生用 教員用

授業支援システム

- ・ 講義・実習・遠隔講義、講義資料、レポート課題などのアップ、授業内アンケート、小テスト、蓄積した講義の視聴、講義の録音録画でアクセスできるシステムです。
- ・ 授業支援システムは「学習支援センター」

Moodle

- ・ 教員を主な顧客の必要、小テスト、レポート、掲示板、アンケート、出席簿といった機能があり、講義担当教員の指示に応じた学習ができます。
- ・ 講義支援サービスは「情報支援センター」

動画配信サイト

- ・ この遠隔講義ポータルを通じて教員は、各自が自己採集された動画を、授業された2004年より2019年までの授業動画をアップロードして配信することができます。
- ・ 遠隔講義ポータルには専任の技術サポートデスクが常駐しています。また、教員、受講生のフィードバックを随時受け、外部機関との協力でサポートに繋がります。各課・各講座の連絡先を記載しております。

資料集

- ・ 「資料集」は「遠隔講義ポータル」の「教員用」メニューから「資料集」を選択すると表示されます。



山口大学・大学教育再生加速プログラム(YU-AP) 紹介動画  
 2019年10月16日



## OTLM学生スタッフ活動2020

# 「リソースをデザインする！」

### ◆「共育の丘だより」編集チーム

教学マネジメント室ニュースレター「共育の丘だより」を各年度2回定期刊行しています。その原稿や撮影写真を編集しています。

○河野（人文2）、赤尾（経済2）、山下（人文2）

### ◆動画コンテンツ作成・編集チーム

FD・SD研修、SLP（スチューデント・リーダー・プログラム）、共育ワークショップ等の動画コンテンツを編集し、教職員・学生への提供サービスの一役を担っています。

これまで、山口大学・大学教育再生加速プログラム（YU-AP）事業紹介動画などを作成してきた実績があります。

藤井（工4）、○弘田（経済3）、京面（国際総合1）

### ◆渉外・他大学交流チーム

学内外の学生交流の企画や情報発信を行っています。他大学交流会（オンライン）のほか、学生FDサミット等の学外イベントの積極的な参加を行っています。

学生スタッフ活動として、平成29年3月に、「学生FDサミット2017春」を山口大学を主催校として開催した実績があります。

○山口（理3）、原（人文4）、杉本（経済4）

# AP全体報告会～バーチャル開催～

2020年3月5・6日に開催が予定されておりました「大学教育再生加速プログラム（AP）全体報告会」が新型コロナウイルス感染症による中止となり、当初予定されていた学生パネルディスカッションを変更し、学生インタビューという形で動画収録されました。APバーチャル報告会「学生インタビュー」に、YU-AP学生スタッフ（人文学部3年 原 きく乃さん）が出演しました。

京都光華女子大学短期大学部 鹿島先生の進行のもと、横浜国立大学、仙台高等専門学校、山口大学の学生がAP事業の取組等について、学生目線で話し合っています。



2020年3月に開催予定の「大学教育再生加速プログラム（AP）全体報告会」学生パネルディスカッションの代わりに、APバーチャル報告会「学生インタビュー」が行われました。会は、京都光華女子大学短期大学部の鹿島先生の進行のもと、横浜国立大学、仙台高等専門学校、山口大学の3校の学生が出演しました。

本インタビューでは「APについてどのように認識しているか?」、「学内に欲しい施設はあるか?」、「もし自分が授業を担当するなら、どのような授業がしたいか?」、「教育機関に入学して、どのような力が身に付いたか?」、「企業への要望はあるか?」、「これからの高等教育機関に必要なことは何か?」といった様々な話題に関して議論が交わされました。

今回のインタビューに出席した学生とは、当日初めて顔合わせをしましたが、学生として同じ悩みを持っていることを知り共感する場面がありました。例えば、仙台高専の学生から提起された図書館の蔵書を充実して欲しいという意見には、特に共感する部分がありました。

インタビュー内での各校独自の取り組みの紹介を通して、新たな知見を得ることも出来ました。山口大学からは職員を対象とした「ラーニング・アドバイザー養成講座」を紹介しました。

「これからの高等教育機関に必要なことは何か?」という問いに対しては、「若い教員の授業を受ける機会を増やしてほしい」や、「高等教育機関で学ぶ意義を学生が認識できていない問題点の解消」や「社会に求められている人材と大学が育てている人材とのズレ」といった、高等教育機関だけに収まらない社会全体への問題提起もなされました。

(人文学部4年 原 きく乃)

# ポストAP宣言

## ポストAP宣言

2020年春、私たちは、新しい旅路に出ます。

私たち高等教育機関の仲間の手で、大学教育再生加速プログラム（AP）の取組を続けます。

- 「アクティブ・ラーニング」
- 「学修成果の可視化」
- 「入試改革」
- 「高大接続」
- 「長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）」
- 「卒業時における質保証の取組の強化」

この数年間、私たちは、学生と一緒にあって、多くの取組と成果を作り上げてきました。そして、“チームAP”という高等教育機関同士の連携も育んできました。

しかし、どの取組もリフトオフしたばかりで、確かな軌道に乗ったとは言えないのではないのでしょうか？

そう、ここで、「終わり」ではないのです。補助事業が終了するに過ぎないのです。

本当に、学生は成長しているのか、社会で活躍しているのか、そのことを、時間をかけて見つけていく必要があります。

私たちには、学生がたくましく育つことによって、社会から信頼される存在であり続けてほしいという夢があります。

さあ、“教育改革”という名の仕組みづくりに留まらず、みんなと一緒に、“人づくり”に全力を注ぎませんか？

学生とともに歩んできたAP事業での日々が大事な一歩であることは違いがありません。

ここで立ち止まらず、私たちの取組が、社会からの信頼と共感を得られるよう、学生と一緒にあって、世の中に届けていきたいと思います。

私たちは、次なる一歩として、社会に向け、新しい橋を架けます。

社会からの信頼を支えに、教員、職員、学生が一緒になって、自今の足で踏み出す！

それが、『ポストAP宣言』！！

（参考）ポストAP宣言文起草委員会メンバー

テーマⅠ：県立広島大学 AP事業担当職員 伊藤 俊

テーマⅡ：阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 教授 松本 高志

テーマⅢ（高大接続）：杏林大学 外国語学部 教授 坂本 ロビン

テーマⅠ・Ⅱ複合型：山口大学 大学教育機構 大学教育センター 准教授 林 透【総編集】

テーマⅠ・Ⅱ複合型：京都光華女子大学短期大学部 ワイフデザイン学科 教授 鹿島 我

テーマⅣ：小樽商科大学 商学部 准教授 大津 晶

テーマⅤ：大阪市立大学 大学教育研究センター 教授 飯吉 弘子

2020年3月5・6日に開催が予定されておりました「大学教育再生加速プログラム（AP）全体報告会」が新型コロナウイルス感染症による中止となり、当初イベント会場にて予定されていた「ポストAP宣言」は、京都光華女子大学短期大学部と山口大学の連携により動画配信を行うこととなりました。APバーチャル報告会「ポストAP宣言」では、YU-AP学生スタッフ3名が活躍しました。

なお、「ポストAP宣言」は、これまで築き上げてきた「大学教育再生加速プログラム（AP）」の取組について、学生・教員・職員が一緒になって、社会の信頼を得られるよう、更なる充実を図っていくと宣言したものです。「ポストAP宣言」は、AP幹事校会議で了承されたポストAP宣言文起草委員会7名により作成され、その世話役を山口大学 大学教育機構 大学教育センター 林 透 准教授が務めました。

## ポストAP宣言



大学教育再生加速プログラム

2020年春  
私たちは新しい旅路に出ます

# オンラインによる学生交流会を開催！

(スチューデント・リーダー・プログラム (SLP) 【学生企画】)

コロナウイルス蔓延を受けて、対面授業からオンライン授業に切り替わり、戸惑った学生、先生方が多かったことと思います。わたしもその一人で、生活も大きく変わり、モチベーションが上がらない状態が続いていました。そこでこの状況を少しでも改善することはできないか、令和2年5月末に、学生スタッフで「①現在の学習、生活状況、②改善できること」を話し合いました。話し合いをしてみても気づいたことは、対面授業を受けているときよりも自由時間が多いということです。趣味、資格の勉強や公務員講座を受けるなどして、有効に使っている学生と、夜更かしをして生活習慣が乱れてしまった学生と二極化しているなと感じました。また、驚くことに、対面授業よりオンライン授業の方がいいというメンバーが多かったです。オンライン授業では、資料を一箇所にまとめやすい、生徒同士、先生と生徒の距離が近いことから理解が進むというようなメリットが多く存在すると思います。オンライン授業のデメリットとして、集中が続きにくい、電波が悪く中断することが多いという意見がありました。

以上の意見から、まずは大学生一人一人が自分を律する必要があるという結論に至りました。具体的な行動案を提案することはできませんでしたが、「オンライン」で距離関係なく、たくさんの人とつながれる今、この状況を糧にして、全国の学生とつながり、活動のヒントを探していけたらいいと思います。(理学部3年 山口 由貴)

## オンライン授業・プライベート

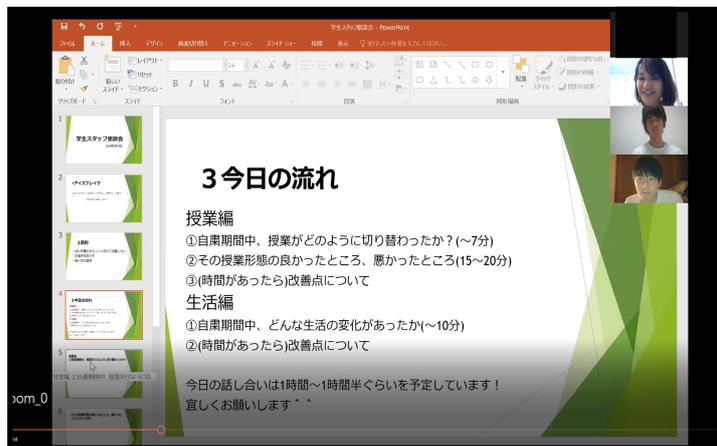
／ ここがGOOD!! ／

- ・自由時間が多い
- ・資料の管理がしやすい
- ・先生に質問しやすい
- ・全国の友達と交流できる
- ・専門外の勉強もできる



／ ここがBAD... ／

- ・だらけてしまう → 自律・三点固定の定着
- ・集中力が続かない → 時間通りに授業を受ける
- ・電波が悪い時がある → 出席確認システムの見直し

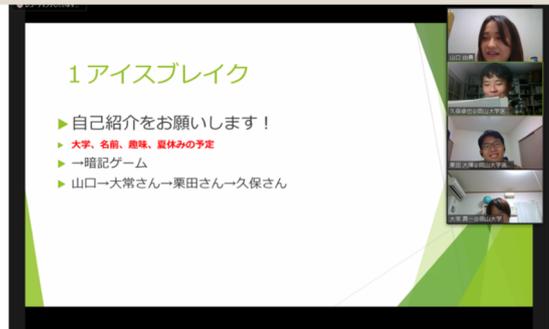


# オンラインによる他大学交流

OTML学生スタッフ同士のオンライン交流を踏まえながら、2020年7月・8月と2回にわたり、岡山大学の学生スタッフグループとの交流を行いました。両大学での取組紹介や今後のオンライン企画などについて話し合いました。岡山大学は、学生参画型FDの発祥の大学であることから、「学生参画型FDとは何か」「学生FDサミットとはどのようなイベントなのか」について教えていただき、本学の学生スタッフの理解促進に大変役立ちました。この交流がきっかけとなり、9月20日に開催された学生FD Cube主催イベントに、本学の渉外・他大学交流チームリーダーの理学部3年山口さんが企画メンバーとして関わることができました。

また、9月には、大学教育再生加速プログラム（AP）事業において相互交流が盛んであった宇都宮大学 基盤教育センター 石井和也准教授の支援のもと、同大学の学生スタッフ7名との交流会を行いました。宇都宮大学では、ラーニングcommonsやピアサポート活動において多くの学生が関わっており、その活動メンバーが参加したほか、大学生自身が「理想の授業」を設計して講義するプロジェクトに関わっているメンバーも参加し、学生による学生のための授業や学習支援に関する数多くの事例紹介を受けました。OTML学生スタッフは、多くの学びと刺激を受け、本学での活動展開の参考にしてい予定で。

今後もオンラインによる他大学交流を継続していく予定です。



## やまぐち探訪記 第十三回 (防府市)



こんにちは！OTMLスタッフの河野真優です。今回は、コロナウイルス流行前に訪れた防府天満宮について紹介します。

先日、わたしは防府に映画を見に行ったのですが、すぐに帰るのはおしいなと思い、駅の案内所に行っておすすめの場所を聞いてみました。案内所には優しいおじいさんがいて、防府の見どころを載せたパンフレットをくれました。そして、おすすめの場所を聞くと、「この近くだったら防府天満宮がいいよ〜！」と教えていただきました。バスも出ているみたいでしたが、散策してみようと思い、歩きで向かいました。商店街を通り抜け、風情のある住宅街、きれいな池を通り過ぎると防府天満宮に到着しました。時間は20分くらいだったと思いますが、いろんな景色が楽しめたので、体感時間は意外と短かったです。

天満宮の大きな鳥居をくぐり、石段を上ると、あの有名な赤い門構えが見えてきました。「学問の神様がいる天満宮だから、しっかりお参りしておこう」と思ったのですが、結婚式をやっている中に入ることではできませんでした。だから、違う場所に何か見どころがないかと思っいろいろ歩き回っていると、2か所いい場所を見つけました。1つ目の場所は、ご本殿の近くにあった展望スペースです。その時は桜が満開ではなかったのですが、防府のきれいな街並みと相まって、とてもすがすがしい気分になりました。2つ目の場所は、芳松庵です。門をくぐると、緑がたくさんあって、まるで時間が流れているような雰囲気でした。どちらの場所も心が洗われるという点で、おすすめです。

今回も、山口の素晴らしいところを発見できました。ぜひ、受験シーズン以外にも行ってみてください。





# OTLM学生スタッフ 募集!

オン・キャンパスでジョブ  
オフ・キャンパスでチャレンジ



教学マネジメント室 林 透  
083-933-5067



林 透(担当教員)  
toru-h@yamaguchi-u.ac.jp



<http://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~otml/Index.html>

## Our Works!

**共育ワークショップ**  
山口大学の教育(共育)について  
学生・教職員が一体となり絆はくむ場  
年に一回開催!

**共育の丘だより**  
教学マネジメント室での活動や  
学生スタッフ活動の広報のため  
年に二回発行!

**山口大学・大学教育再生加速プログラム  
(YU-AP)推進事業**  
2014年に採択された全学を挙げての事業  
学生・教職員が協働して推進!

**SLPの開発**  
Student Leader Program  
リーダーシップ養成  
学園相談会(ピア・サポート)  
キャリア学習会(就業力支援)...

学生向けの  
新・正課外教育プログラムを  
教職員協働で創出!

**学生FDサミット**  
全国を駆け回って大活躍中!!

オン・キャンパスでジョブ  
勤労観摩乗務、ニュースレター編纂乗務  
学内企業イベントの補助乗務  
オフ・キャンパスでチャレンジ  
オンラインによる他大生との交流会  
山口市・廣門市・尾道大島などの体験学習

### Contact!

教学マネジメント室  
yuap@yamaguchi-u.ac.jp

### 編集班:

- 河野 真優 (人文学部2年)
- 山下 祥 (人文学部2年)
- 赤尾 侑果 (経済学部2年)
- 林 透 (教学マネジメント室 准教授)

### 学生メンバー:

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 原 きく乃 (人文学部4年) | 山口 由貴 (理学部3年)     |
| 川田 海榮 (経済学部4年) | 弘田 侑大 (経済学部3年)    |
| 杉本 寛晟 (経済学部4年) | 河野 真優 (人文学部2年)    |
| 大亀 洋輔 (理学部4年)  | 山下 祥 (人文学部2年)     |
| 藤井 聖也 (工学部4年)  | 赤尾 侑果 (経済学部2年)    |
| 西谷 泉水 (農学部4年)  | 京面 裕也 (国際総合科学部1年) |

### 発行:

教学マネジメント室  
(2020年10月19日 発行)

### 編集後記

今回初めて編集を担当させていただきました。編集作業は元々担当し  
たかったので、とても楽しく、時間があっという間に過ぎていきました。今回  
こだわったところは統一感です。秋号なので、赤やオレンジと言った暖色を使  
って、秋らしさを表現しました。初挑戦ということや力不足ということもあり、  
まだまだ改善の余地がありますが、今回編集してみて分かったことや  
新しく得たアイデアを次回以降の編集作業に活かしていきたいと思いま  
す。そして、仲間と協力して、より良く、楽しい活動ができていけらいいな  
と思います。(人文学部2年 河野 真優)

大学教育は、大学教職員、学生、地域をつなげます